

渋滞対策委員に 山本氏追加選任

協会
ト部会
兵海コン

兵ト協海上コンテナ部会（佐賀里隆之部会長）は7月16日、県トラック総合会館で役員会を開き、渋滞対策委員会の委員に山本清志氏（竹谷運輸）を追加選任した。渋滞対策委員には役員3人が就任しているが、山本氏からアプローチがあり、元部会長としての知識と経験も評価して委員就任を決めた。

佐賀里部会長は冒頭、「6月の総会時に

部会員から意見を受け付けたが、山本氏から意見提出があった」として役員会に許可を求め、オブザーバーとして出席した山本氏から意見を聞いた。

山本氏は、神戸のポートアイランドと六甲アイランドに設置されているコンテナ搬出入ストックヤードについて「本来の目的であるターミナルの正常化とは異なるものの、過渡期的対症療法として運送業者の負担を軽減するため、日本初のストックヤード方式が開始され、渋滞に巻き込まれる状況は大きく改善された」と強調、本格的な渋滞解消にはさらなるストックヤードの組織強化が不可欠だとし、新たな人材の確保を



兵ト協海コン部会の役員会

提案した。また、渋滞対策委員会の委員に立候補したいとの考えも示した。

この提案を受けて役

員会では山本氏に一時退席を求めた上で協議したが、ストックヤードの人材補強については事業を管轄する阪神

港海上コンテナ協会が判断することだとして部会の結論は見送り、山本氏の渋滞対策委員への就任だけを承認し

た。渋滞対策委員は役員として富永武志（日本通運）、峰晴直行（産興運輸）、佐土原秀夫

（国際コンテナ輸送）の3氏が就任しており、山本氏加わることで委員は4人になる。